

Weekly Bulletin 2016-2017



RI会長
ジョンF.ジャーム



人類に
奉仕する
ロータリー

静岡東ロータリークラブ

会長／大村幸代 幹事／細川俊彦

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
大村幸代

第 2809 回例会

平成 28 年 5 月 18 日 天候 晴のち雨

《司 会》 細川 俊彦君

《合 唱》 「我等の生業」

《BGM》 ウィンナ・ワルツ名曲集

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

該当者なし

結婚記念日

5月21日 曾根 正弘 君

5月22日 川口 尚宜 君

《会長挨拶要旨》

「泥棒捕まりました」



大村 幸代 会長

昨年10月に事務所に泥棒が入り現金を少し盗まれました。その時、警察の人が事務所の中の足跡や指紋をとり、たぶん2人組だろうということでしたが、何とその泥棒が先日捕まったそうです。群馬県警の警察官が事務所まできて報告して

くださいました。群馬県でつかまった泥棒は3人組で移動しながら窃盗を繰り返していたそうです。捕まらないだろうと思っていた私たちは逆に驚いたのですが彼らはマメに記録を残しているのだそうです。

日本の警察はやはり優秀だと思って、ためしに検挙率を調べてみたら、昨年1月から6月までの資料ですが、刑法犯罪の検挙率は33.41%だそうです。6割以上が検挙されていないことになるのですが実は刑法犯罪には自転車泥棒から殺人まで幅があり、自転車泥棒は5.7%の検挙率に対してオートバイ泥棒は16.1%、ひったくりは37.5%、空き巣は51.4%、放火

が71.4%、強盗は78.4%誘拐は93.9%、殺人は94.9%だそうです。つまり犯罪が凶悪になるほど検挙率が上がっているようで、盗まれた自転車はあきらめたほうがいいかもしれませんが、空き巣は半分くらいは捕まるといことのように。

ところで泥棒からみた魅力的な家とはどんな家でしょうか。

「元泥棒の話」を読みましたら、入りやすい家は塀や垣根で囲まれた家(入ってしまえば外から気づかれにくい)マンションなどの集合住宅で、2階以上の部屋(窓に鍵をかけていない場合が多い)住宅街であれば角にある家(隣人に見つかりにくい)裏口、勝手口が外からの死角になっている家だそうです。私の事務所は裏に置いてあるエアコンの室外機に登ってガラスを割り進入されましたが、雨どいなどがあれば2階3階には簡単にあがれるそうです。それから進入した後どこを探すのかというと、リビング、寝室、食器棚、クローゼット、冷蔵庫などで、10分あれば二部屋はしらみつぶせるそうです。隠してあるものを探す、というより棚や引出のものを全部床に投げ出す。つまり探すのではなく荒らす過程で見つけるのだそうです。

泥棒に入られるのは気分のいいものではありません。転ばぬ先の杖で防犯意識を持つことが大切だとあらためて思いました。

最後にアルソックのホームページの載っていた川柳を2首ご紹介します。

ごみ出しの ちょっとの間に 入られた
盗られたは 妻のへそくり 俺以上

《会員卓話》 鍋田知佐人君「BCPについて」



先日私は、宮崎会員と宮古島にトリアスロンの大会に参加してまいりました。宮古島はロングの大会にあたります。まず海で3キロ泳ぎその後自転車に155キロ乗って、最後に42キロのフルマラソンを走ります。今回二人ともこの距離に挑戦するのは初めてでありました。私は

宮崎くんとすれ違うたびに彼との距離を確認し、それほど離れていないことに安心感を抱きながら走っていました。結果を申し上げますと、私はマラソンの21キロの折り返し地点で関門に引っかかり、それ以上走らせてもらえず泣く泣くリタイヤ。宮崎君はと申しますと12時間54分で見事ゴールしました。そして大会の翌朝、不思議と体が軽いですね、気が付くと海岸線を7キロほどランニングしていました。こんなに元気なら何で前日に走れなかったのかと思いかえすと、また悔しさがましてきて涙が零れ落ちました。恐れていたものは忘れた時にやってくるんですね。それは、その翌日に来ました。全身筋肉痛です。一日全く動くことが出来なくなりました。本日の一つ目のキーワード「恐れていたものは忘れた時にやってくる」。二人の明暗を分けた大きな要因は何だったのか？後日話を聞いたら、とにかく最後のランニングでは関門の時間に引っかからないように時間を確認しながら、急いで走ったとのこと。彼は事前準備と対策を怠らなかつたですね、それに引き換え私は関門の時間を知りませんでした。慢心していました。本日の二つ目のキーワードは「本当に怖いのは慢心」。

それでは本題のBCPについてお話をさせていただきます。BCPとは何なのか、Business Continuity Plan(事業継続計画)と訳されています。企業規模や業種によってとらえ方は様々ですが、BCPの本質は、想像力と事前準備だといわれています。現状に何が起これば最悪の結果を招くのか？また最悪の結果とはどういうものなのか？起りうるものとしてどういうものがあるか？つまり6か月から12か月の業績を考えて自社の事業にどのようなことが起こると最悪の影響を受けるのか？

たとえば、もし二年前に茨城県で起きたような大規模な洪水が起きたとしたら、もしハイパーインフレが起き、円が暴落したとしたら、もしブラックマンデーのような株価が暴落したとしたら、自分が携わっているビジネスに最悪の事態が生じたらどのように対処したらよいのか、それを補うとすれば何をなすべきか？危機には何をもって対処するのか？

この様なことを考えることがBCPだと思われまます。「もし、今ここで東海地震がおきたとしたら。」

今年4月27日、政府の地震調査研究推進本部より今後30年以内に地震に見舞われる確率を示す「全国地震予測地図」の2017年版が公表されました。

30年以内に地震が発生する確立で0.1%以上3%未満は「やや高い」3%以上は「高い」とされているそうです。東海北陸地区で30年以内の震度6以上の発生確率はこのようです。たった3%で高いと評価されていることに驚くべきか静岡の発生確率を疑うべきか悩みます。ここで内閣府が昨年作成した南海トラフのシミュレーション映像をご紹介します。

なぜ内閣府が作成したかその意図を考えながら見て頂けると興味深いものがございます。

最後に以前に地震研究で有名な東海大学の長尾教授のお話を伺う機会がありました。印象的だった教授の言葉を三つご紹介させていただきます。東海地震は世界で唯一地震発生前に名前がついている地震です。つまり

必ず起こる地震だということ。BCPの有無が企業の危機管理に対する取り組みの真剣度を測る基準、事前に投資すれば、事後に使うよりはるかに安い1兆円投資したら80兆円の復興費用が節約できる。1億円の耐震補強をすると15億円の復旧費用より安くつく、もしBCPのひな型が必要でしたら、ご連絡頂ければ無料サンプルをお送りしますので自社の取り組みにご活用ください。

《会員卓話》 杉山輝光君「ドローン航空法の豆知識」



現在あらゆる方面で実用的な活用が注目されているドローンですがその反面実際の飛行に関しては事故防止を目的に急速に法規制が入ってきました。ドローンを所有していても何処でも自由に飛ばせて映像を撮影出来る時代は終了しました。法規制に基づいた飛行と条件によっては国に許可申請する上での準備が必要になります。本日はドローンに関する法律の中で中心となる航空法、小型無人機等飛行禁止法の簡単な豆知識をお話しさせていただきます。まず小型無人機等飛行禁止法は大きく3つの規制があります。国の重要な施設・外国公館・原子力発電事業所がその施設です。これら周辺の300mは全方位飛行禁止エリアとなります。次に航空法では200gを超える重量のドローンに関して、空港周辺・150mを超える上空・人家密集地域など国の許可なしでの飛行禁止空域が指定されています。また飛行方法も日中での飛行目視内飛行など大きく分けて6項目の制約事項が決められています。これら以外にも天候や風速など様々な要素で飛行不可な状況があります。我々ドローン操縦技術・安全管理の技術者を育成するスクールではこのようなドローンを安全に合法的に飛行を行う為の知識と実技の習得をお手伝いしております。

《スマイル報告》

宮城 展代 君 今年1月より3ヶ月休会し、市議選にチャレンジしました。おかげさまで目的達成し4月よりロータリーに無事復帰させて頂いたことに感謝し、スマイルします。皆様有難う御座いました

川口 尚宜 君 結婚記念日のお花有難う御座いました。結婚して13年経ちました。先輩達のように20年、30年、40年続けられる秘訣を教えてください。宜しくお願い致します。

鳥屋原 昇 君 お誕生日のお祝い有難う御座いました。5月4日が祝日になって31年が経ちます。ゴールデンウィークで家族は誕生日よりも行楽に夢中でした

《出席報告》

| | 会員数 | 出席 | 欠席 | MU | 完全欠席 | 確定出席率 |
|------|--------|----|----|----|------|--------|
| 5/18 | 54(52) | 40 | 12 | - | - | - |
| 5/11 | 53(51) | 41 | 10 | - | - | - |
| 4/27 | 51(49) | 36 | 13 | 8 | 5 | 89.80% |

(会報作成：宮崎貴久)